

としょえもん

令和4年度
第3号

学校図書館サポートセンター広報紙

令和4年度「調べる学習コンクール」入賞おめでとう



帝京大学教授
鎌田和宏氏

第6回『調べる学習コンクール』には896点の作品の応募がありました。昨年度比約1.7倍の応募でした。応募の内訳を見てみると小学生611点(約2.9倍)、中学生285点(約14%減)で、学校数を見ると小学校34校(4校減)、中学校3校(2校減)の応募でした。第1回のコンクールは市制100周年ということもあり1478点の応募があり、その後467点、348点、282点、538点と応募点数が変遷してきました。本年度の応募校数が減ったのは残念でしたが、コロナ禍を乗り越え、応募作品は増えてきています。

今年度も力作ぞろいで読むことにかなりの時間を要しました。本年度は小学生作品の質向上が顕著だったと思います。表現方法にも工夫が見られ、調べたことを適切に伝えている作品が多く見られました。

本市コンクールの優秀作品を、第26回「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品いたしました。全体で11万3千点を超える応募があったようですが、本市作品から優良賞1点、奨励賞1点、佳作12点の受賞がありました。入賞は一つの目安に過ぎませんが、八王子の教育の取り組みが進歩していることのバロメーターでもあります。学校での学習の中には「探究」に関係することが多くあります。それらを活用して「探究」し、応募して下さい。調べること、表現することを楽しみましょう。

市長賞 「フタバスズキリュウを知る旅」

陶鎔小学校3年 九里 梓葉 さん

【保護者の方から】

もともと自分で興味を持った事を本等で調べることが好きではありましたが、それを人に伝えることには消極的でした。しかし、今回の調べ学習を通して、みんなが知らないことを、自分の言葉で伝えたいという意欲が強くなり、その成長を嬉しく感じました。これからも様々な事に目を向け、積極的に挑戦してほしいと思います。



審査委員講評「フタバスズキリュウを知る旅」

小学校3年生の九里さんは、最初に骨を見てワクワクし、それがフタバスズキリュウという恐竜の骨とわかりました。フタバスズキリュウはドラえもんの映画に出てくる「ピー助」であることからどんな恐竜か知りたくなり、また、その骨が日本の福島で発見された恐竜の骨であったことから、日本にも恐竜がいて日本の海で泳いでいたと想像し、ますます興味を持ちいろいろな角度から調べまとめた作品です。

作品の内容ですが、小学校3年生らしい興味の持ち方から始まり、調べ学習の目的をたて、調べ、それについての自分の意見、感想、疑問を明確にし、深く広く調べを進めており、読む者が引き込まれていきます。よくまとまっておりとてもきれいに仕上がっている素晴らしい作品です。

樋口 忍 (元明星大学客員教授)

教育長賞

『『バベルの塔』ってなんだろう?』

緑が丘小学校 6年 古市 明日香 さん

【保護者の方から】

絵画への興味から始まった調べ学習ですが、たくさんの魅力的な本の力に助けられ、未知の世界に入り



り込み思いもよらない景色に出会えた時間は、娘にとってかけがえのないものになりました。今後も大好きな図書館を基地とし、また、

可能な限り実態に触れ、様々な人と出会いながら学び続けていけることを願っています。

審査委員講評 『バベルの塔』って何だろう

はじめに、小さい頃から建築に興味、関心をもったことが今回の「バベルの塔」について調べる動機になったようです。マイキャラとマークがどの箇所にも効果的に表現されていました。

『バベルの塔』の物語 徹底解剖」は①～⑧項目に分けて構成されており、明確にまとめられていました。調べていく中で課題を見付け解決していく、その追求心に大変感銘しました。

「おわりに」では「本を探す度に何度も、助けていただきました。ありがとうございます。」と図書館の人への感謝の気持ちもあふれていました。「とても楽しかったです!!」とまとめの言葉が心に残りました。私も魅力いっぱい作品に出会うことができ幸せでした。 秋本 浩市(帝京大学客員准教授)

教育長賞 「大工さんも大へん」

小宮小学校 3年 松岡 直 さん

【保護者の方から】

建築に係る職や道具の調べる学習を2年続け、今年地域による建物の構造の差に興味を持った娘。図書館でレファレンスいただいた図書にさらに研究意欲を刺激され、とても楽しそうに調べてまとめ、図解も丁寧に書いておりました。興味あることを調べられる環境に感謝し、今後も知る喜びに出会うことを願っています。



審査委員講評 「大工さんも大へん」

大工さんになりたい松岡さんは、気候や地形が特徴的な地域に建てられた家の工夫について調べました。松岡さんの素晴らしい点は、調べたことをまとめただけでなく、学んだことを活かして自分の家を検討したことです。学んだことを自分に引き寄せて考えることはとても大切なことです。検討の結果、その家に「すむ人のとくちょうを知って家づくりにとりこむ」ことも欠かせないと気づきました。また例に挙げた家や工夫の箇所は資料のコピーをせず、正確に丁寧に描いたことで理解を深めたと思います。今回は本とインターネットで調べましたが、東京でも荒川の水塚、水屋があり実物が見られますから今後はフィールドワークも取り入れてみて下さい。

田揚 江里(元東京学芸大学講師)



全国入賞作品から十四作品をコンクールへ送りました

市長賞	陶鎔	小学校	3	九里 梓葉	フタバズギリュウを知る旅
教育長賞	小宮	小学校	3	松岡 直	「大工さんも大へん」～地いきに合わせた家づくり～
	緑が丘	小学校	6	古市 明日香	『バベルの塔』ってなんだろう? ～旧約聖書『バベルの塔』の物語にかくされた謎を徹底解剖!～
優秀賞	第八	小学校	4	野崎 莉子	プラスチックの何がダメ?～今わたしたちにできること～
	山田	小学校	6	中本 慧	小学生新聞のコラムはおもしろい!「天声ごも語」1年分の分析
	由木東	小学校	2	岩田 花佳	はちみつはどうやってつくられるの?～はちのしごととようほうのしごとについて～
	長池	小学校	2	坂井 宏至	ぼくの考える未来の踏切
	大和田	小学校	3	河崎 幸太郎	なぜ横浜線は横浜駅を通らないのか
	元八王子東	小学校	3	三野 清子	こま犬ってなあに?～こま犬を見に行く
	檜原	小学校	4	太田 翔	第二次世界大戦と八王子
	愛宕	小学校	5	福田 詩子	時間と時計の不思議
	みなみ野	小学校	6	久保田 桃羽	モーツァルトの曲を聴くと、英語耳が発達する?!実験してみました
	別所	中学校	1	田中 蔵之介	高尾山におけるムササビの生態にはどんなものがあるのか～普及啓発へ繋げていくために～
別所	中学校	3	加藤 心優	夏に最適な～服装～	

受賞校に聞く 七国小学校



おめでとう！



学校賞

「調べる学習コンクール」応募にあたり素晴らしい取り組みがあったと認められる学校へ贈る賞です。今年度は七国小学校が受賞しました。

七国小学校は、今回3・4年児童全員がコンクールに参加しました。調べ学習を通して感受性や探究心が豊かになり、総合的な学力を育むことを期待しました。学校図書館と八王子市立図書館から貸出を行い、本を活用した調べ学習のサポートとして学校司書と連携することで、きめ細かい指導と助言が可能となりました。

学校賞受賞は子供たちの励みになりました。来年度以降も取り組みを継続し、学校図書館を中心に学びの種をまき続けます。学びに向かう力の発揮は、一人ひとり個性があり、多様であることが素晴らしいです。自由な発想で子供たちが自らの知的好奇心を伸ばし、発揮してくれることを願っています。

(八王子市立七国小学校 校長 小林 佳世)

「調べる学習コンクール」で大切なポイント！

「テーマ決め」 / 「参考文献リスト」

百科事典を使ってテーマ決め～緑が丘小学校

「調べてみたい疑問」が調べる学習のテーマとなりますが、そのテーマ決めが児童生徒にとって難関となっています。緑が丘小学校の6年生は、昨年度より百科事典を使った学習を積み重ねてきました。今年度は全員が「調べる学習コンクール」に参加することになり、テーマを決める際に百科事典を活用しました。

まず学校司書が『調べる学習ガイド』（八王子市教育委員会編）に沿って調べ学習のやり方を説明しました。次に百科事典を使って自分の興味や関心のあることから引き、基本的な情報をおさえます。そこから浮かんだ疑問を書き留め、調べ学習のテーマとなるかどうかを考えました。百科事典を使うことで様々な情報にふれることができ、児童の探究心が高まりました。このような積み重ねもあり、素晴らしい作品が生まれました。(M.H.)

なぜ必要？参考文献リスト

調べた時に利用したものを記録しておくことは、コンクールの応募に限らず、とても大切です。本などの先人の調査や考えを参考にし、自分の考えをまとめる事は調べる学習において欠かせません。何を参考にして調べたかを示すことによって、先人に敬意を表すこととなります。また、その作品が正しいことを書いているかを読み手が判断する目安にできるため、信頼度が増すこととなります。

参考文献を明示するには、書名だけでは不十分です。同じ書名の本があっても特定できるよう、著者・出版社（発行所）・出版年なども記載しましょう。これらは本の最後の方にある「奥付」に書いてあります。

インターネットで調べた時も、必ず参考文献リストに載せます。サイト名とサイトの制作者、URL、いつ見たか（アクセス日）を書きます。(K.S.)



百科事典で調べています

資料 5：参考文献リスト
【本を参考にした場合】

テーマ	著者名	出版社名 (発行所)	出版年

クロームブックで郷土学習、資料に写真が入ってますます便利に！

八王子市立小中学校の児童生徒は、学習にタブレット端末(Chromebook クロームブック)も使っています。クロームブックからは学校図書館の活用や読書活動の推進、調べ学習の支援等で利用できる「学校図書館サイト」にアクセスすることができます。

「学校図書館サイト」の中にある「資料集」は、主に八王子について調べる際に便利な資料が地域やジャンルごとに掲載されています。これらの資料は、児童生徒が調べるのが難しい一般の郷土資料やパンフレットなどから、学校司書が要約・ルビ振りをして作成しました。検索機能を使って横断的に探すこともできます。

12月からは一部の資料に写真を追加しました。これらの写真は、令和4年8月に学校司書が資料に関

する建物や神社仏閣を回り撮影したものです。写真があることでイメージがしやすくなりました。(A.Y.)

ランドセル地蔵

ランドセル地蔵
相即寺の境内に建てられた地蔵堂の中には、『八王子城が攻め落とされた時の戦死者を弔うために作られた地蔵が150体ほど祀られています。その中の1体が、古世古和子(※)さんに紹介されて有名になったランドセル地蔵です。この地蔵堂は、1年のうち3回だけ扉が開かれ、中の地蔵を見ることができます。

*古世古和子…1929(昭和4)年生まれの児童文学作家。『ランドセルをしょったじろうさん』という作品で、相即寺のランドセル地蔵が紹介されている



地蔵堂



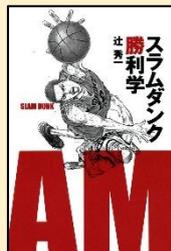
ランドセル地蔵

校長先生！おすすめの本は何ですか？

『スラムダンク勝利学』

辻秀一 著／集英社インターナショナル

バスケットボール漫画「スラムダンク」を題材に、そこに描かれた内容をもとに「勝利するための考え方」はもちろんのこと、「苦難に直面した時のメンタルの在り方」などが紹介されています。



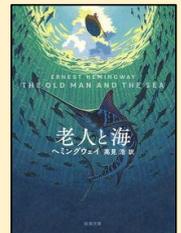
主人公が所属するチームの監督である安西先生の名言が秀逸です。「あきらめたらそこで試合終了ですよ」は数ある名言の中でも有名です。最後の1秒まで自分を信じて、仲間を信じて全力を尽くす。生きていく上で大切なことに気づかせてくれます。スラムダンクを知らない人でも丁寧に解説されているので分かりやすいです。ぜひ、人生の哲学書にしてはいかがでしょうか。

八王子市立七国中学校 校長 黒島 永虎

『老人と海』

アーネスト・ヘミングウェイ 著
高見浩 訳／新潮文庫

私の小学生時代は、どちらかといえばアウトドア専門。学校が終わった後は、日が暮れるまで勇んで友達と野山を駆け回っていました。5年生の宿題で読書感想文を書くために、いやいやながら、それでも「釣り」に興味を惹かれ手にしたのがこの本でした。まるで映画のスペクタクルを見ているように、映像が浮かんで一気に読み終えたのを今でも覚えています。本が好きになるきっかけとなった、この本が私のおすすめの一冊です。



八王子市立由井第一小学校 校長 徳永 和弘



発行：令和5年(2023年)3月10日

八王子市教育委員会
教育指導課 学校図書館サポートセンター
問い合わせ：042-664-1193